

男女共同参画の視点でつくる避難所運営ガイドの製作 及び

平成 24 年度製作した防災冊子の利活用と展開

(ア)平成 24 年度製作した防災冊子を利用した啓発事業の実施

昨年度製作した「女性の視点で作った防災手帖(シニア版)」と「ひとり暮らしの女性のための防災BOOK(若年女性版)」については平成 25 年度を通じた防災フェアなどの機会をとらえて配布したほか、市内・外の必要とする方へ配布した。



▼配布総数

・「女性の視点で作った防災手帖(シニア版)」・・・2,875 冊／3,000 冊

・「ひとり暮らしの女性のための防災BOOK(若年女性版)」・・・1,880 冊／2,000 冊

その他、多摩区自主防災連絡協議会で増刷をいただいたり、区や市の実施する防災訓練だけでなく、地域内の自主勉強会や自主防災組織の防災訓練時に防災プロジェクトメンバーの協力を得ながら、下記の講習会やイベントにて配布や解説したりするなど、男女共同参画の視点から取り組む防災の必要性や日頃の備えなどについて知っていただく機会作りを行った。

日時	イベント名	内容
7 月 30 日(火)	四季の会 防災勉強会	女性の視点がなぜ必要なのか。被災地に学ぶ女性リーダーの必要性と防災手帖紹介
8 月 24 日(土)	たかつあんあんフェスタ	女性の視点でつくる防災への取り組み出展 災害時のトイレ事情と対策紹介
8 月 31 日(土)	川崎市総合防災訓練	女性の視点でつくる防災への取り組み出展 災害時のトイレ事情と対策紹介
10 月 20 日(日)	ローズハイツ東和多摩川@川崎 区マンション管理組合主催	女性の視点でつくる防災への取り組み出展 災害時のトイレ事情と対策紹介
11 月 2 日(土)	高津区高津地区合同防災訓練	女性の視点でつくる防災への取り組み出展 災害時のトイレ事情と対策紹介
11 月 9 日(土)	目黒区鷹番 1・2 丁目町会震災 対策部会主催 防災研修会	大震災トイレの水は流せない！その時あなたは 女性の視点で作る防災の取り組みの必要性について
11 月 26 日(火)	川崎市地域女性連絡協議会 防災講演会	女性の視点が置き去りにならない 防災・減災のアプローチ
12 月 6 日(金)	多摩区防災フェスタ	女性の視点でつくる防災への取り組み出展 災害時のトイレ事情と対策紹介
12 月 11 日(水)	高津区女性消防団員研修会	女性の視点が置き去りにならない 防災・減災へのアプローチ
12 月 5 日(木)	高津区防災会議	高津区防災ネットワーク会議(避難所部会)への参加
12 月 19 日(木)	高津区防災会議	高津区防災ネットワーク会議への参加
2014(平成 26)年 3 月 2 日(日)	高津区橘地区合同防災訓練	女性の視点でつくる防災への取り組み出展 災害時のトイレ事情と対策紹介

(イ)男女共同参画の視点でつくる避難所運営ガイドの製作

■背景

川崎市では、「地域防災計画の震災対策編の第1章 計画の方針」第7節「男女共同参画の視点への配慮」が追記された。しかしながら、具体的に避難所運営会議の委員が地域における日常の訓練時等に取り組む場合、何が求められるのかが具体的には明文化されていないため、平常時の防災訓練や災害時の対応の際に具体的な行動につなげることは難しいと言える。さらに、防災分野における女性リーダーの育成にあたっては、男女双方の男女共同参画への理解が欠かせないため、既存組織の保有するマニュアル等に不足している男女共同参画の視点の具体例を記載した内容で、多様な住民が共に支え・助け合い、安全・安心な地域を作るために、平時からどのような視点を持って防災の取り組みをしていく必要があるのか、いざという時に備えるためのヒントとなる学習教材としてのガイドを製作することとした。

■作成の工夫

- ①今年度は、川崎市の総務局危機管理室が改訂・公表(2014.4.1 付)する予定となっていたことから、事前に危機管理室とも調整をし、「避難所運営マニュアル～地震災害対策編～」に併せて市民が活用できるよう頁番号や紹介の内容について連動する構成とした。
- ②平成25年9月～平成26年3月にかけて行った防災・避難所運営訓練等への出前イベントや講座の様子、川崎市民の女性防災士(日本ミクニヤ株式会社所属)の協力を得て平成25年12月「被災地に学ぶ避難所運営法」講座内で市民の本ガイド案を紹介し、意見をアンケート聴取、また、過去3年間の東日本大震災の避難者ヒアリングでの内容を踏まえて製作した。
- ③避難所運営においては、各所でマニュアルが異なることから、印刷物2,000部のうち、川崎市総務局危機管理室経由で全市の自主防災組織及び市・各区の危機管理担当者へ約800冊配布後、関心ある市民へ先着順でセンター窓口にて配布すると同時に講座等での利活用を考えており、広く利用できるようセンターホームページでの公開を予定している。(4月28日公開)

■内容

タイトル「男女共同参画の視点でつくる避難所運営ガイド」(A4版・25P)	
0. はじめに	
1. 避難所を知ろう	
2. 避難所運営って、どんなことするの？	
3. 避難所運営に必要な男女共同参画の視点とは	
3.1 避難所では	
3.2 普段の活動では(日頃の意志決定と役割分担について)	
4. こんなところが、気をつけるポイント	
・特別なニーズを持つ人がいることを理解しましょう。	
・被災者一人ひとりの多様性とは	
・ニーズとは？	

4.1 集団生活に適したプライバシーの確保・住居空間の作り方

4.2 安心・安全・衛生面の確保

4.3 避難所の受付

4.4 支援物資の仕分けと管理、配布

4.5 心のケアと健康チェック・相談機能

4の各章については、次の解説がついています。

①何をするの？(市・危機管理室の作成の避難所運営マニュアルに該当するページ番号及び文章を記載)②事前に調整しておこう！(平常時の訓練の際に取り組むべき内容を記載しています。)③事例に学ぶ(過去の震災経験談から記載)④重要な男女共同参画の視点(被災時に男女共同参画の視点から取り組む必要性の高い事柄についての記載)⑤こんな訓練をやろう(避難所運営会議等での取り組みの一例としてそのテーマにちなんだ訓練の例を紹介)

5. 避難所チェックシート

6. おわりに

発行予定部数：(2014(平成 26)年 4 月発行・2000 部)